益田地区広域クリーンセンター
整　備　及　び　運　営　事　業

様 式 集
（第二次審査）

平成 16 年 9 月

益田地区広域市町村圏事務組合

第二次審査様式一覧

様式番号及びタイトル	社名記載	入札価格審査	基礎審査	内容審査Ⅱ
8　第二次審査書類提出届，入札書				
(様式8-1) 第二次審査書類提出届	○	－	－	－
(様式8-2) 委任状	○	－	－	－
(様式8-3) 入札書	○	○	－	－
9　基礎審査に関する提案書				
(様式9-1) 基礎審査に関する提案書　表紙	－	－	－	－
(様式9-2) 第一次審査提案内容との整合性確認表	－	－	○	－
(様式9-3) 施設の整備に関する要求水準確認書	－	－	○	－
(様式9-4) 施設の運営に関する要求水準確認書	－	－	○	－
10　内容審査Ⅱに関する提案書				
(様式10-1) 内容審査Ⅱに関する提案書　表紙	－	－	－	－
(様式10-2) 本事業に関する提案内容の概要	－	－	－	○
(様式10-3) 処理システムの安定稼働に対する特徴	－	－	－	○
(様式10-4) 処理システムの安全性確保の考え方及び特徴	－	－	－	○
(様式10-5) 全体配置計画と動線計画	－	－	－	○
(様式10-6) 建築計画（建築平面・断面計画）	－	－	－	○
(様式10-7) 建築計画（建築デザイン計画）	－	－	－	○
(様式10-8) 建築計画（仕上げ計画）	－	－	－	○
(様式10-9) 外構施設	－	－	－	○
(様式10-10) 整備工程表	－	－	－	○
(様式10-11) 建設工事中の周辺住民への配慮	－	－	－	○
(様式10-12) 運営人員体制と勤務体制，安全衛生管理及び安全教育の方法	－	－	－	○
(様式10-13) 処理対象物の受入れ方法	－	－	－	○
(様式10-14) 副生成物の有効利用方法	－	－	－	○
(様式10-15) 施設運転中の計測管理	－	－	－	○
(様式10-16) 運転データの情報公開	－	－	－	○
(様式10-17) 機械設備の維持管理計画	－	－	－	○

第二次審査様式一覧

様式番号及びタイトル	社名記載	入札価格審査	基礎審査	内容審査Ⅱ
(様式10-18) 建築物等の維持管理計画	―	―	―	○
(様式10-19) 施設見学者への対応	―	―	―	○
(様式10-20) 広域組合への施設所有権の移転手続きに関する対応	―	―	―	○
(様式10-21) 追加溶融施設の整備計画	―	―	―	○
(様式10-22) 追加溶融施設整備後の運営計画	―	―	―	○
(様式10-23) 事業の安定性及び事業実施の確実性	―	―	―	○
(様式10-24) 資金調達	―	―	―	○
(様式10-25) 収支計画	―	―	―	○
(様式10-26) 資金不足への対応	―	―	―	○
(様式10-27) リスク分担	―	―	―	○
(様式10-28) 保険の付保	―	―	―	○
(様式10-29) 経営悪化時の対応	―	―	―	○
11　事業計画に関する提案書＜見積書及び収支計画関連書類＞				
(様式11-1) 事業計画に関する提案書 ＜見積及び収支計画関連書類＞　表紙	―	―	―	―
(様式11-2) 入札価格内訳書	―	―	―	○
(様式11-3) サービス対価（固定費Ⅰ）内訳書	―	―	―	○
(様式11-4) 長期収支計画書（１）	―	―	―	○
(様式11-5) 長期収支計画書（２）	―	―	―	○
(様式11-6) 初期投資額見積書	―	―	―	○
(様式11-7) 資金調達計画書（１）	―	―	―	○
(様式11-8) 「施設の整備段階における業務」費用内訳書	―	―	―	○
(様式11-9) 「施設の運営段階における業務」費用内訳書	―	―	―	○
(様式11-10) 「本施設の維持管理」費用内訳書	―	―	―	○
(様式11-11) 「変動費Ⅰの単価」算定式確認書	―	―	―	○
(様式11-12) 「副生成物等の想定発生率」算定式確認書	―	―	―	○
(様式11-13) 「副生成物等の有効利用又は最終処分の単価」内訳書	―	―	―	○
(様式11-14) 資金調達計画書（２）	―	―	―	○

第二次審査様式一覧

様式番号及びタイトル	社名記載	入札価格審査	基礎審査	内容審査II
(様式11-15) 追加投資額見積書	－	－	－	○
(様式11-16) 「追加溶融施設の整備段階における業務」費用内訳書	－	－	－	○
(様式11-17) 追加溶融施設整備後の「施設の運営段階における業務」費用内訳書	－	－	－	○
(様式11-18) 追加溶融施設整備後の「本施設の維持管理」費用内訳書	－	－	－	○
(様式11-19) 追加溶融施設整備後の「変動費Ｉの単価」算定式確認書	－	－	－	○
(様式11-20) 追加溶融施設整備後の「副生成物等の想定発生率」算定式確認書	－	－	－	○
(様式11-21) 追加溶融施設整備後の「副生成物等の有効利用又は最終処分の単価」内訳書	－	－	－	○
12　提案設計資料				
(様式12-1) 提案設計資料　表紙	－	－	－	－
(様式12-2) 設計基本数値計算書	－	－	○	○
(様式12-3) プロセスの説明	－	－	○	○
(様式12-4) プラント運転条件	－	－	○	○
(様式12-5) 主要機器メーカリスト	－	－	○	○
(様式12-6) 機械設備仕様	－	－	○	○
(様式12-7) 建築物等仕様	－	－	○	○
13　提案図面				
(様式13-1)　提案図面　表紙	－	－	－	－
(様式13-2)　提案図面一覧表	－	－	－	－
(様式 13-3)　全体施設配置計画図	－	－	○	○
(様式 13-4)　動線計画図	－	－	○	○
(様式 13-5)　施設各階平面図	－	－	○	○
(様式 13-6)　施設立面図	－	－	○	○
(様式 13-7)　施設断面図	－	－	○	○
(様式 13-8)　部分詳細図（説明図）	－	－	○	○

第二次審査様式一覧

様式番号及びタイトル	社名記載	入札価格審査	基礎審査	内容審査Ⅱ
(様式 13-9) システムフロー図	―	―	〇	〇
(様式 13-10) 炉組立図	―	―	〇	〇
(様式 13-11) 築炉構造図	―	―	〇	〇
(様式 13-12) 煙突組立図及び姿図	―	―	〇	〇
(様式 13-13) 電気設備主回路単線結線図	―	―	〇	〇
(様式 13-14) 建築外部及び内部仕上表	―	―	〇	〇
(様式 13-15) 面積表（建築面積、延床面積）	―	―	〇	〇
(様式 13-16) 完成予想図	―	―	〇	〇
(様式 13-17) その他	―	―	〇	〇
14 追加溶融施設の提案設計資料				
(様式14-1) 追加溶融施設に関する提案設計資料　表紙	―	―	―	―
15 追加溶融施設の提案図面				
(様式15-1) 追加溶融施設に関する提案図面　表紙	―	―	―	―

注)「流動床式炭化炉方式」及び「ストーカ＋セメント原料化方式」を提案する場合には、追加溶融施設に関する提案設計資料と提案図面を様式 12 及び様式 13 の様式番号及びタイトルを参考に新たに設定し，それぞれ様式 14 一式と様式 15 一式として提出してください。

（様式 8-1）

平成　　年　　月　　日

第二次審査書類提出届

益田地区広域市町村圏事務組合
代表理事　益田市長　牛尾郁夫　様

「益田地区広域クリーンセンター整備及び運営事業」の入札説明書等に基づく第二次審査書類を提出します。

〔応募事業者又は代表事業者〕
商号又は名称
所　　在　　地
代　表　者　名　　　　　　　　　　　　　　　　　印

※　代表者名は代表権のある役員としてください。

（様式 8-2）

平成　　年　　月　　日

委　任　状

益田地区広域市町村圏事務組合
代表理事　益田市長　牛尾郁夫　様

〔構成員〕　商号又は名称
所　　在　　地
代　表　者　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

〔協力事業者〕商号又は名称
所　　在　　地
代　表　者　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

〔広域組合委託先企業〕商号又は名称
所　　在　　地
代　表　者　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

私は，下記の代表事業者を代理人と定め，次の権限を委任致します。

受任者
〔代表事業者〕商号又は名称
所　　在　　地
代　表　者　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

委任事項
1. 入札について
2. 契約に関すること

受任者印
印

※ 代表者名は代表権のある役員としてください。
※ 構成員・協力事業者・広域組合委託先企業の欄が足りない場合は本様式に準じ適宜作成・追加してください。
※ 応募事業者の場合は提出不要です。

(様式 8-3)

入　札　書

事業名：益田地区広域クリーンセンター整備及び運営事業

入札金額　　金　　　　　　　　　　　　　　　　円也　（消費税抜き）

入札説明書等を承諾のうえ，上記の金額によって入札します。

平成　　年　　月　　日

益田地区広域市町村圏事務組合
代表理事　益田市長　牛尾郁夫　様

(様式 9-1)

基礎審査に関する提案書

応募者番号：

(様式 9-2)

第一次審査提案内容との整合性確認書

「内容審査Ⅰに関する提案書」に記載した提案内容と「内容審査Ⅱに関する提案書」に記載した提案内容に不整合がないかを表１に基づいて確認し，不整合がない場合には応募者確認の欄に○をつけてください。また，提案内容の変更等がある場合は，それが示されている様式 No を記載してください。

表１　第一次審査提案内容との整合性確認表

確認項目			応募者確認	変更等記載様式 No
内容審査Ⅰの評価事項	内容審査Ⅰの設問	内容審査Ⅱ様式 No		
①　本事業の基本的な考え方	1 本事業への取組方針	様式 10-2		
	2 本事業の実施体制等	様式 10-23		
②　整備計画に関する考え方	1 施設規模等設定の考え方	様式 10-3		
	2 ごみ処理能力の考え方	様式 10-3		
	3 受け入れごみの制限を緩和する方法	様式 10-3		
	4 安定稼働の阻害要因とその経験が活かされる事項	様式 10-3 様式 10-4		
③　運営計画に関する考え方	1 安全かつ安定した運転を行うための基本的な考え方	様式 10-12		
	2 受入時間の拡大に対する基本的な考え方	様式 10-13		
	3 処理不適物の発見方法等の考え方	様式 10-13		
	4 副生成物の有効利用に対する基本的な考え方	様式 10-14		
	5 機械設備の維持管理に対する基本的な考え方	様式 10-17		
④　追加溶融施設の整備及び運営の考え方	1 事業スキームの安定性確保の考え方	様式 10-23 ～様式 10-29		
	2 追加溶融施設の整備の考え方	様式 10-21		
	3 追加溶融施設整備後の運営の考え方	様式 10-22		

応募者番号：

施設の整備に関する要求水準確認書

表 1　施設の整備に関する要求水準確認表は，応募者から提出された第二次審査の提案内容が要求水準書に示す「施設の整備に関する要件」を満たしているか否かを確認するためのものです。応募者自らが表 1 に示す項目を確認し、以下のとおりに記載してください。

（1）表 1 の「様式 No」には，第二次審査の提案内容が要求水準を満たしている事が確認できる内容が示されている様式 No（複数可）を記載してください。

（2）表 1 の「応募者確認欄」には，要求水準が満たされている事を応募者自らが確認したうえで，“ ○ ”を記入してください。

（3）要求水準に数値の指定がある場合には，「応募者確認欄」に具体的な数値を記載してください。

（4）表 1 の確認項目のうち，第二次審査の提案内容に要求水準を満たしているという具体的な記載がない場合，その項目の内容が実現可能であれば，「応募者確認欄」に“ 実現可能 ”と記載してください。

(様式 9-3)

表1　施設の整備に関する要求水準確認表

項　目		確認内容	様式No	応募者確認
整備に関する基本的事項	材料及び機器	• 指定どおりに材料及び機器を使用することができるか。		
	試運転及び性能試験	• 指定どおりに試運転を行うことができるか。		
		• 指定どおりに性能試験を行うことができるか。		
		• 指定どおりに性能保証事項を遵守できるか。		
		• 指定どおりに副生成物の取り扱いを行うことができるか。		
		• 指定どおりに広域組合への報告を行うことができるか。		
	提出図書	• 指定どおりの実施設計図書、施工計画書、完成図書を作成し提出することができるか。		
	検査及び試験	• 指定どおりに検査及び試験を行うことができるか。		
	その他	• 指定どおりに関係法令等を遵守できるか。		
		• 指定どおりに安全衛生管理を行うことができるか。		
		• 指定どおりに環境保全を行うことができるか。		
		• 指定どおりに建設副産物等の取り扱いを行うことができるか。		
		• 指定どおりの竣工式を行うことができるか。		
機械設備の設計・施工	受入・供給設備	• 本事業の基本条件を満足するよう受入・供給設備の緒元（型式，数量,能力，容量，材質，操作条件等）が決定されているか。		
		• 布団，じゅうたん及びクッション等を受入れ，適正に処理できる破砕機等の前処理設備が設置されているか。また，木竹類及び布類を排出する際の受入寸法を現状（20cm）より大きくすることができるなど，処理対象物の受入に関する住民サービスの向上に配慮されているか。		
		• 持込可燃ごみ及び汚泥の受入を可能とする設備（ダンピングボックス及び汚泥受入・供給設備等）が設置されているか。		
	燃焼設備又は溶融設備	• 本事業の基本条件を満足するよう燃焼設備または溶融設備の緒元が決定されているか。		
	燃焼ガス冷却設備	• 本事業の基本条件を満足するよう燃焼ガス冷却設備の緒元が決定されているか。		
	排ガス処理設備	• 本事業の基本条件を満足するよう排ガス処理設備の緒元が決定されているか。		
	通風設備	• 本事業の基本条件を満足するよう通風設備の緒元が決定されているか。		

応募者番号：

項　目		確認内容	様式No	応募者確認
機械設備の設計・施工	灰出し設備	• 本事業の基本条件を満足するよう各設備の緒元(種類,型式，容量，基数等）が決定されているか。		
	スラグ・メタル処理設備	• 本事業の基本条件を満足するようスラグ・メタル処理設備の緒元が決定されているか。		
	給水設備	• 本事業の基本条件を満足するよう給水設備の緒元が決定されているか。		
		• 受水槽監視装置は、広域組合が設置する加圧施設の水位が監視できるようになっているか。		
		• 洗車装置が施設用地の建屋内に設置されているか。		
	排水処理設備	• 排水クローズドを遵守するために必要な排水処理設備が設置されているか。		
	電気・計装設備	• 本事業の基本条件を満足するよう電気・計装設備の緒元が決定されているか。		
	周辺住民への情報公開設備	• 指定どおりのデータを表示できる情報公開設備が管理区域内に設置されているか。		
		• 運営状況を住民に分かりやすく伝えることを目的とした本施設のホームページを開設することができるか。		
	見学者用説明設備	• 指定どおりの施設全体模型を設置することができるか。		
		• 指定どおりの説明用パネルを設置することができるか。		
		• 指定どおりの説明用映写設備を設置することができるか。		
		• 指定どおりの説明用音声設備を設置することができるか。		
		• 指定どおりの説明用パンフレットを作成することができるか。		
建築物等の設計・施工	全体施設配置・動線計画	(1)全体施設配置計画 • 動線計画との整合に十分配慮して工場棟, 管理棟 (工場棟と一体とすることも可), 計量棟, 洗車棟, 駐車場等が合理的に配置されているか。		
		• 周辺環境と調和を図るとともに, 西石見地区広域農道, 農道取付道, 進入路からの景観に十分配慮して上記の建築物等が配置されているか。		
		• 来客者や見学者などがわかりやすい位置に管理棟 (エントランスホール) が配置されているか。		
		• 環境保全の観点から, 施設用地内に可能な限り多くの植栽が配置されているか。		
		(2) 動線計画 • 処理対象物の搬入車両及びスラグの搬出車両が安全かつ円滑な運転ができる動線となっているか。		
		• 混雑時でも施設用地外まで待機車両があふれないように, 搬出入車両の待機スペースが十分確保されている		

応募者番号：

項　目		確認内容	様式 No	応募者確認
		か。		
建築物等の設計・施工	全体施設配置・動線計画	• 持ち込み可燃ごみの搬入時と搬出時の 2 回計量と，搬出時にごみ量及び料金徴収の伝票管理がスムーズにできる動線が確保されているか。		
		• 災害時の活動を行うための動線が確保されているか。		
		• 歩行者動線と，処理対象物等の搬入出車動線と，一般者動線が明確に分離されているか。		
	建築物及び建築設備	(1)建築計画 • 機械設備は，すべて建屋内に収納されているか。		
		• 騒音･振動･悪臭等の発生が考えられる機器については，十分な環境対策を施した密閉性の高い室内に配置されているか。		
		• エントランスホール（100m2 以上），大会議室（100m2 以上），小会議室 1（30m2 以上），小会議室 2（30m2 以上），見学者用通路，見学者用トイレが配置されているか。		m2
		• 事務室の他，作業従事者の休憩室，浴室等が配置されているか。		
		• 建屋内の各居室は，見学者用動線と施設管理者用動線が分離して配置されているか。		
		• 見学者等用諸室については，バリアフリーに配慮するとともに，スロープの設置，手すりの取り付け等が行われているか。		
		• 大会議室は，可動間仕切壁により 2 室に分離できる構造になっているか。		
		• 見学者用通路については，安全に見学が行えるよう十分な幅を確保するとともに，主要設備の稼働状況等が見学できるような構造になっているか。		
		• 見学者用トイレについては，男用と女用及び身体障害者用が配置されているか。		
		• 本施設の建築物及び構造物（煙突及び外構施設）の形状･色彩については，清潔感あふれる親しみやすいものとするとともに，ランドスケープデザインの配慮と周辺環境との調和が図られているか。		
		• 居室は，明るくて親しみやすい雰囲気のデザインになっているか。		
		• 居室は，明るくて親しみやすい雰囲気の内部仕上げになっているか。		
		• 耐久性の高い外部仕上げになっているか。		
		• 指定の場所にわかりやすく表示した案内板が設置されているか。		
		• 見学者等用諸室に指定の備品が設置されているか。		
		(2)建築構造計画 • 建築物は，設計基準に基づく十分な構造耐力を有するとともに，荷重及び外力を確実に地盤に伝達できる構造となっているか。		

応募者番号：

項　目		確認内容	様式No	応募者確認
建築物等の設計・施工	建築物及び建築設備	・建築物は，地盤条件に応じた基礎構造によって完全に支持され，荷重の偏在による不等沈下の生じない基礎となっているか。		
		・重量の大きな設備を支持する架構及びクレーンの支持架構等は，十分な強度，剛性を保有し，地震時の荷重を安全に支持しうるものになっているか。特に，クレーン架構については，クレーン急制動時の検討がなされているか。		
		・プラットホームの床は，日常の洗浄にも長期にわたって耐え得るものであり，沈下の影響を受けないような構造となっているか。		
		(3)建築設備計画 ・居室には，適切な給･排水設備，衛生設備，空気調和･換気設備，給湯設備，建築電気設備，エレベータ設備等が設置されているか。		
		・消防関係法令に基づく消火設備が設置されているか。		
		・避雷設備が設置されているか。		
		・防犯設備が設置されているか。		
		・適切な照度を確保した室内環境となっているか。		
	外構施設	(1)構内道路 ・アスファルト舗装の構内道路が配置されているか。		
		・道路幅員は，原則として 2 車線（9m）以上となっているか。		
		・舗装構成は，「アスファルト舗装要綱（社団法人日本道路協会編）」等に基づいて決定されているか。		
		・交通安全上の白線，道路標識が設置されているか。		
		(2)駐車場 ・従業員の乗用車以外に，乗用車 10 台以上が駐車可能なスペースが設けられているか。		台
		・見学者用のバス 2 台以上が駐車可能なスペースが設けられているか。		台
		(3)構内雨水排水 ・構内雨水を適切に排水する構造となっているか。		
		(4)門・囲障 ・門扉及び囲い（施設用地全周）が設置されているか。		
		・門扉及び囲いともに景観に十分配慮されているか。		
		(5)植　栽 ・施設用地内に周辺環境と調和するよう常緑高木を主体として中木，低木，地被が植栽されているか。		
		・施設用地を除く管理区域に周辺環境と調和するよう明るく親しみやすい植物が植栽されているか。		

応募者番号：

項　目		確認内容	様式 No	応募者確認
		(6)外　灯 • 施設用地内に景観と調和のとれた防犯及び安全管理上の外灯が設置されているか。		
その他付帯業務	施設の工事監理	• 指定どおりの施設の工事監理ができるか。		
	生活環境影響調査	• 指定どおりの生活環境影響調査ができるか。		
	国庫補助金申請手続き	• 指定どおりの国庫補助金申請手続きができるか。		
その他付帯業務	一般廃棄物処理施設整備に係る許認可申請手続き	• 指定どおりの一般廃棄物処理施設整備に係る許認可申請手続きができるか。		
	周辺住民への対応	• 工事内容，工事スケジュール等の説明など周辺住民への対応に係る一切の業務を実施することができるか。		
		• 広域組合と周辺住民との 3 者による環境保全等に関する覚書を締結することができるか。		
	管理区域の清掃及び除草	• 竣工式の前に管理区域内（約 3ha）の清掃及び除草を行うことができるか。		

応募者番号：

施設の運営に関する要求水準確認書

表 2　施設の運営に関する要求水準確認表は，応募者から提出された第二次審査の提案内容が要求水準書に示す「施設の運営に関する要件」を満たしているか否かを確認するためのものです。応募者自らが表 2 に示す項目を確認し、以下のとおりに記載してください。

（1）表 2 の「様式 No」には，第二次審査の提案内容が要求水準を満たしている事が確認できる内容が示されている様式 No（複数可）を記載してください。

（2）表 2 の「応募者確認欄」には，要求水準が満たされている事を応募者自らが確認したうえで，“ ○ ”を記入してください。

（3）要求水準に数値の指定がある場合には，表 2 の「応募者確認欄」に具体的な数値を記載してください。

（4）表 2 の確認項目のうち，第二次審査の提案内容に要求水準を満たしているという具体的な記載がない場合，その項目の内容が実現可能であれば，「応募者確認欄」に“ 実現可能 ”と記載してください。

（様式 9－3）

表 2　施設の運営に関する要求水準確認表

項　目		確認内容	様式 No	応募者確認
運営に関する基本事項	性能保証事項の遵守	• 指定どおりの性能保証事項を遵守しながら、本施設の運転を行うことができるか。		
	安全かつ安定した運転の励行	• 指定どおりに安全かつ安定した本施設の運転を行うことができるか。		
	関係法令等の遵守	• 指定どおりに関係法令等を遵守できるか。		
	運営に必要な有資格者等の確保	• 指定どおりに運営に必要な有資格者が確保できるか。		
	提出書類	• 指定どおりの運営・維持管理マニュアル，年間維持管理計画等，運営・維持管理報告書を作成し提出することができるか。		
処理対象物の受入れ及び処理	処理対象物の受入れ	• 指定どおりの受入期間に処理対象物を受け入れることができるか。		
		• 指定どおりに処理対象物の計量及びその記録，報告を行うことができるか。		
		• 指定どおりに処理料金の徴収伝票発行及び督促、報告を行うことができるか。		
		• 搬入出車両に対する安全管理を適切に行うことができるか。		
		• 指定どおりに処理対象物の性状の確認を行うことができるか。		
	処理対象物の処理	• 指定どおりに安全で安定した処理対象物の処理を行うことができるか。		
	処理対象物の処理	• 有害物，危険物等については，安全な保管を心がける考えが明記されているか。		
	緊急時の対応	• 指定どおりに適切な緊急時の対応を行うことができるか		
副生成物等の有効利用又は最終処分	基本事項	• 指定どおりに副生成物等の有効利用又は最終処分，品質試験，保管・搬出を行うことができるか。		
		• 指定どおりに副生成物等のデータの記録、報告を行うことができるか		
		• 指定どおりに広域組合委託先企業の管理を行うことができるか。（必要な場合）		
	溶融方式の場合	• 指定どおりに有効利用又は最終処分を行うことになっているか。		
	流動床式炭化炉方式の場合	• 指定どおりに有効利用又は最終処分を行うことになっているか。		

応募者番号：

（様式 9－3）

項　目		確認内容	様式No	応募者確認
	ストーカ＋セメント原料化方式の場合	• 指定どおりに有効利用又は最終処分を行うことになっているか。		
環境保全の管理	施設運転中の計測管理	• 指定どおりに施設運営中の計測管理を行うことになっているか。		
	運転データの記録及び周辺住民への情報公開	• 指定どおりに計測管理した運転データを記録し，報告を行うことになっているか。		
		• 指定どおりに運転データの周辺住民への情報公開を行うことになっているか。		
本施設の維持管理	機械設備の維持管理	• 保守管理，修繕更新等により発生した小部品，部材等は放置，野積み等をすることのないよう建屋内で適切に管理し，廃材はすみやかに撤去することになっているか。		
		• 場内諸設備は，ほこり異物等が堆積，散乱しないように，定期的に清掃，整理整頓を行い，作業安全，機器等の状態維持に努めることになっているか。		
		• 機械設備の維持管理実績を記録し，報告することになっているか。		
	建築物等の維持管理	• 保守管理，修繕更新等により発生した小部品，部材等は放置，野積み等をすることのないよう建屋内で適切に管理し，廃材はすみやかに撤去することになっているか。		
		• 見学者通路はもとより，施設内を適宜清掃し，景観の維持に努めることになっているか。		
		• 施設用地内において，破損，磨耗，はく離，退色等が生じた箇所は，すみやかに補修を行い，重故障を防止することになっているか。		
		• 建築物等の維持管理実績を記録し，報告することになっているか。		
その他付帯業務	施設見学者への対応	• 指定どおりに施設見学者への対応を行うことになっているか。		
	施設の警備	• 指定どおりに本施設の警備を行うことになっているか。		
	管理区域の清掃及び除草	• 指定どおりに管理区域の清掃及び年４回以上の除草を行うことになっているか。		
	広域組合への施設所有権の移転手続きに	• 指定どおりに広域組合への本施設所有権の移転手続きを行うことになっているか。		

応募者番号：

（様式 10－1）

内容審査Ⅱに関する提案書

応募者番号：

（様式 10－2）

1.事業の総合計画 (1) 本事業に対する取組方針   a.本事業に関する提案内容の概要について具体的に述べてください。

・Ａ４版２枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

（様式 10－3）

2.整備計画 (1) 機械設備の設計・施工 a.主要な機械設備（受入・供給設備～電気・計装設備）について，採用する処理方式における処理システムの安定稼働に対する特徴を具体的に述べてください。

・Ａ４版　６枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

2.整備計画 (1) 機械設備の設計・施工 b.下記の観点から，主要な機械設備（受入・供給設備～電気・計装設備）について，採用する処理方式における処理システムの安全性確保の考え方及び特徴を具体的に述べてください。
①通常運転時 ②地震・火災・停電等の非常時

・Ａ４版　４枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10－5）

2.整備計画 (2) 建築物等の設計・施工 a.全体施設配置計画と動線計画において，要求水準書の内容に対して配慮した事項及び独自に工夫した事項について具体的に述べてください。

・Ａ４版３枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10－6）

2.整備計画 **(2) 建築物等の設計・施工** **b.建築計画（建築平面・断面計画）において，要求水準書の内容に対して配慮した事項及び独自に工夫した事項について具体的に述べてください。**

・Ａ４版３枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10－7）

2.整備計画 (2) 建築物等の設計・施工 c.建築計画（建築デザイン計画）において，要求水準書の内容に対して配慮した事項及び独自に工夫した事項について具体的に述べてください。

・Ａ４版２枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10－8）

2.整備計画 **(2) 建築物等の設計・施工** **d.建築計画（仕上げ計画）において，要求水準書の内容に対して配慮した事項及び独自に工夫した事項について具体的に述べてください。**

・Ａ４版２枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10－9）

2.整備計画 (2) 建築物等の設計・施工 e.外構施設において，要求水準書の内容に対して配慮した事項及び独自に工夫した事項について具体的に述べてください。

・Ａ４版２枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10-10）

2.整備計画 (3) その他付帯業務 a.施設の整備工程表の作成にあたり配慮した点について具体的に述べてください。

・Ａ４版２枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

(様式 10-11)

2.整備計画 **(3) その他付帯業務** **b.建設工事中の公害防止対策，周辺環境への配慮等，周辺住民への配慮について具体的に述べてください。**

・Ａ４版２枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

3.運営計画 **(1) 運営に関する基本的事項** **a.運営人員体制（担当業務別人員数）と勤務体制（日勤、夜勤等）、安全衛生管理及び安全教育の方法について具体的に述べてください。**

・Ａ４版４枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10－13）

3.運営計画 **(2) 処理対象物の受入れおよび処理** **a.処理対象物の受入れ方法について具体的に述べてください。**

・Ａ４版３枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10－14）

3.運営計画 **(3) 副生成物の有効利用又は最終処分** **a.下記の観点から，副生成物の有効利用方法について具体的に述べてください。**
①市況変動時の対応 ②提案時における有効利用の確実性（販売先との交渉の熟度）

・Ａ４版 2 枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10－15）

3.運営計画 (4) 環境保全の管理 a.施設運転中の計測管理について，要求水準書の内容に対して配慮した事項及び独自に工夫した事項について述べてください。

・Ａ４版１枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10－16）

3.運営計画 **(4) 環境保全の管理** **b.運転データの情報公開について，要求水準書の内容に対して配慮した事項及び独自に工夫した事項について述べてください。**

・Ａ４版２枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10－17）

3.運営計画 (5) 施設の維持管理 　a.機械設備の維持管理計画の考え方及び特徴について具体的に述べてください。

・Ａ４版３枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

3.運営計画 (5) 施設の維持管理 b.建築物等の維持管理計画の考え方及び特徴について述べてください。

・Ａ４版２枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10－19）

3.運営計画 (6) その他付帯業務 a.施設見学者への対応について，要求水準書の内容に対して配慮した事項及び独自に工夫した事項について述べてください。

・Ａ４版３枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10－20）

3.運営計画 (6) その他付帯業務 b.広域組合への施設所有権の移転手続きに関する対応について，要求水準書の内容に対して配慮した事項及び独自に工夫した事項について具体的に述べてください。

・Ａ４版２枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10－21）

4.追加溶融施設の整備及び運営計画 **(1) 追加溶融施設の整備及び運営の概要** **a.下記の観点から，追加溶融施設の整備計画について具体的に述べてください。**
①ごみ処理能力

・Ａ４版２枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10－21）

4.追加溶融施設の整備及び運営計画 (1) 追加溶融施設の整備及び運営の概要 a.下記の観点から，追加溶融施設の整備計画について具体的に述べてください。
②安定稼働・安全性 ※入札広告の前日までに受注した全ての溶融施設について建設及び運転実績を確認できる資料（実績確認シート）を作成すること（「様式 6-3」をベースとし、「様式 10-21（別紙）」とする）。

・Ａ４版２枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

4.追加溶融施設の整備及び運営計画
(1) 追加溶融施設の整備及び運営の概要
a.下記の観点から，追加溶融施設の整備計画について具体的に述べてください。

③整備工程

・Ａ４版１枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

4.追加溶融施設の整備及び運営計画 **(1) 追加溶融施設の整備及び運営の概要** **a.下記の観点から，追加溶融施設の整備計画について具体的に述べてください。**
④配置計画

・Ａ４版１枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

4.追加溶融施設の整備及び運営計画
(1) 追加溶融施設の整備及び運営の概要
a.下記の観点から，追加溶融施設の整備計画について具体的に述べてください。

⑤運営保証金Ｉの内訳

・Ａ４版１枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10－22）

4.追加溶融施設の整備及び運営計画 (1) 追加溶融施設の整備及び運営の概要 b.追加溶融施設整備後の運営計画について具体的に述べてください。
①運営人員体制

・Ａ４版１枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10－22）

4.追加溶融施設の整備及び運営計画 (1) 追加溶融施設の整備及び運営の概要 b.追加溶融施設整備後の運営計画について具体的に述べてください。
②副生成物の有効利用

・Ａ４版１枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10－22）

4.追加溶融施設の整備及び運営計画 (1) 追加溶融施設の整備及び運営の概要 b.追加溶融施設整備後の運営計画について具体的に述べてください。
③施設の維持管理

・Ａ４版２枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

4.追加溶融施設の整備及び運営計画
(1) 追加溶融施設の整備及び運営の概要
b.追加溶融施設整備後の運営計画について具体的に述べてください。

④運営保証金Ⅱの内訳

・Ａ４版１枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。
・提案内容の記述の中で各提案図面及び各提案設計資料を参照する際には，参照先（様式番号及び任意で設定した頁，参照箇所等）がわかるように記述すること。

応募者番号：

（様式 10－23）

5.事業計画 (1) 実施体制 a.事業の安定性及び事業実施の確実性を高めるために，実施体制において工夫した点を述べてください。

・Ａ４版５枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

（様式 10－24）

5.事業計画 **(2) 資金計画** **a.下記の観点から，事業の安定性及び事業実施の確実性を高めるために，資金計画において工夫した点を述べてください。** ①資金調達

・Ａ４版１枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

5.事業計画 **(2) 資金計画** **a.下記の観点から，事業の安定性及び事業実施の確実性を高めるために，資金計画において工夫した点を述べてください。** ②収支計画

・Ａ４版２枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

5.事業計画

(2) 資金計画

a.下記の観点から，事業の安定性及び事業実施の確実性を高めるために，資金計画において工夫した点を述べてください。

③資金不足への対応

・Ａ４版１枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

（様式 10－27）

5.事業計画 **(3) リスク管理方針** **a.下記の観点から，本事業の特性を特性を踏まえたリスク管理方針について述べべてください。** ①リスク分担

・Ａ４版２枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

5.事業計画 (3) リスク管理方針 a.下記の観点から，本事業の特性を特性を踏まえたリスク管理方針について述べ べてください。 ②保険の付保

・Ａ４版１枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

（様式 10－29）

5.事業計画 **(3) リスク管理方針** **a.下記の観点から，本事業の特性を特性を踏まえたリスク管理方針について述べべてください。** ③経営悪化時の対応

・Ａ４版１枚以内
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

（様式 11－1）

事業計画に関する提案書
＜見積書及び収支計画関連書類＞

応募者番号：

（様式11-2）

入札価格内訳書

（単位：円）

項目	四半期あたり [a]	年度あたり [b]=[a]×4	15年間計 [c]=[b]×15
サービス対価（固定費Ⅰ）　（A）			
元金	／	／	
利息	／	／	
サービス対価（固定費Ⅱ）　（B）			
人件費			
需用費			
維持管理費			
その他業務費			
ＳＰＣ経費			
サービス対価（変動費Ⅰ）　（C）	／		
サービス対価（変動費Ⅱ）　（D）	／		
サービス対価（保証金Ⅰ）　（E）	／		
サービス対価（保証金Ⅱ）　（F）	／		
合計　（A+B+C+D+E+F）			

=入札価格

※1　消費税及び物価変動を除いた金額をご記入ください。
※2　一円単位で記入してください。また、一円未満は切り捨ててください。
※3　「合計」の「15年間計」は、（様式8－3）と一致させてください。
※4　平成20年4月1日より早期に運営を開始する場合に追加されるサービス対価は含まないでください。したがって、各サービス対価の「15年間計」は、（様式11－4）の「H20－H34計」と一致させてください。
※5　「サービス対価（固定費Ⅰ）」は、国庫補助金交付想定額を控除した金額を記入してください。
※6　「サービス対価（固定費Ⅰ）」の「元金」の「15年間計」は、（様式11－6）の「①施設の整備段階における業務」と「②運営開始前に必要となる諸費用」の「小計」の「計」の和から（様式11－7）の「⑥国庫補助金」の「計」を引いた金額と一致させてください。
※7　「サービス対価（固定費Ⅰ）」のそれぞれの金額は、（様式11－3）で対応する金額と一致させてください。
※8　「サービス対価（固定費Ⅱ）」の内訳ごと、「サービス対価（変動費Ⅰ）」及び「サービス対価（変動費Ⅱ）」の「15年間計」は、（様式11－9）で対応する項目の「小計」の「H20－H34計」と一致させてください。
※9　「サービス対価（変動費Ⅰ）」及び「サービス対価（変動費Ⅱ）」は、計画年間平均処理量及び計画ごみ質（基準ごみ時）における金額とし、（様式11－11）及び（様式11－13）と一致させてください。
※10　「サービス対価（変動費Ⅱ）」は、副生成物の有償売却に伴う収入がある場合にはこれを控除した金額を記入してください。

応募者番号：

（様式11-3）

サービス対価（固定費Ｉ）内訳書

（単位：円）

年度	四半期	元金	利息	計
H20	第1			
	第2			
	第3			
	第4			
H21	第1			
	第2			
	第3			
	第4			
H22	第1			
	第2			
	第3			
	第4			
H23	第1			
	第2			
	第3			
	第4			
H24	第1			
	第2			
	第3			
	第4			
H25	第1			
	第2			
	第3			
	第4			
H26	第1			
	第2			
	第3			
	第4			
H27	第1			
	第2			
	第3			
	第4			

年度	四半期	元金	利息	計
H28	第1			
	第2			
	第3			
	第4			
H29	第1			
	第2			
	第3			
	第4			
H30	第1			
	第2			
	第3			
	第4			
H31	第1			
	第2			
	第3			
	第4			
H32	第1			
	第2			
	第3			
	第4			
H33	第1			
	第2			
	第3			
	第4			
H34	第1			
	第2			
	第3			
	第4			
合計				

※1　消費税及び物価変動を除いた金額をご記入ください。

※2　一円単位で記入してください。また、一円未満は切り捨ててください。

※3　国庫補助金交付想定額を控除した金額を記入してください。

※4　各四半期の「計」はすべて同額となるようにしてください。

※5　「合計」はそれぞれ、（様式11－2）と一致させてください。

※6　平成[n]年度は、平成[n]年4月1日から平成[n+1]年3月31日を示します。また、第1四半期は4月1日、第2四半期は7月1日、第3四半期は10月1日、第4四半期は1月1日に始まる3ヶ月間を示します（全様式共通）。

応募者番号：

（様式11-4）

長期収支計画書（１）

（単位：千円）

	費目	備考	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	計	H20-H34計
損益計算書	収益																					
	サービス対価（固定費Ⅰ）																					
	サービス対価（固定費Ⅱ）																					
	サービス対価（変動費Ⅰ）																					
	サービス対価（変動費Ⅱ）																					
	サービス対価（保証金Ⅰ）																					
	サービス対価（保証金Ⅱ）																					
	小計																					
	費用																					
	施設の運営段階における業務																					
	支払い利息																					
	小計																					
	経常利益																					
	特別利益																					
	特別損失																					
	税引前当期純利益																					
	課税損益																					
	法人税等																					
	税引後当期純利益																					
	累積損益																					
貸借対照表	資産の部																					
	現預金																					
	返済準備積立金																					
	その他流動資産																					
	未収消費税																					
	有形固定資産																					
	その他固定資産																					
	資産合計																					
	負債の部																					
	劣後融資																					
	長期借入金																					
	短期借入金																					
	未払消費税																					
	負債合計																					
	資本の部																					
	出資金																					
	利益準備金																					
	余剰金																					
	資本合計																					
	資産－負債－資本																					

※1　Ａ３横長で作成してください。
※2　消費税及び物価変動を除いた金額をご記入ください。
※3　千円単位で記入してください。
※4　必要に応じて項目を追加・削除してください。
※5　運営開始日は応募者が提案する日とします。したがって、平成20年4月1日より早期に運営を開始する場合には、サービス対価の追加分及び平成19年度以前に発生する費用（（様式11－9）と一致）を計上してください。
※6　各サービス対価は、（様式11－2）の「年度あたり」と一致させてください。
※7　「収益」の欄に、副生成物の有償売却に伴う収入を計上しないでください（（様式11－9）においてすでに考慮されているため）。
※8　「費用」の「施設の運営段階における業務」は、（様式11－9）の「合計」と一致させてください。したがって、「費用」の欄には、（様式11－9）で計上されていない費用を列挙してください。
※9　サービス対価は、実際に支払いを受ける年度がサービス提供の年度と異なる場合でも、サービス提供の年度に支払われるものとして計上してください。
※10　法人税等（法人税、事業税、住民税）は、実際に納付する年度が所得算定の年度と異なる場合でも、所得算定の年度に納付するものとして計上してください。
※11　算出根拠を示す様式がない項目（固定資産の評価額等）については、別紙を添付してください（様式自由、「様式11－4（別紙）」とする、返済計画については（様式11－7）※5及び（様式11－14）※5参照）。

応募者番号：

長期収支計画書（２）

（単位：千円）

費目	備考	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	計	H20-H34計
キャッシュフロー計算書																					
営業活動によるキャッシュフロー																					
税引後当期純利益																					
減価償却費戻し																					
仮受消費税																					
仮払消費税																					
消費税の納付・還付																					
小計																					
投資活動によるキャッシュフロー																					
小計																					
財務活動によるキャッシュフロー																					
出資金																					
国庫補助金																					
劣後融資																					
長期借入金																					
短期借入金																					
劣後融資元本返済																					
長期借入元本返済																					
短期借入元本返済																					
修繕更新費積立																					
修繕更新費支払																					
運営保証金Ⅰ																					
運営保証金Ⅱ																					
運営保証金Ⅰ返還																					
運営保証金Ⅱ返還																					
返済準備金																					
小計																					
配当前キャッシュフロー																					
内部留保金取崩																					
配当																					
内部留保金																					
財務指標	番号	[17]	[18]	[19]	[20]	[21]	[22]	[23]	[24]	[25]	[26]	[27]	[28]	[29]	[30]	[31]	[32]	[33]	[34]	[35]	
ＥＩＲＲ		=IRR([f17]:[f34])																			
出資金	[a]																				
劣後融資	[b]																				
配当	[c]																				
劣後融資元本返済	[d]																				
劣後融資支払い利息	[e]																				
計（[a]+[b]+[c]+[d]+[e]）	[f]																				
ＥＩＲＲ	-																				
ＤＳＣＲ		=[j]/([h]+[i])、注）返済期間中の各年度について算定																			
配当前キャッシュフロー	[g]																				
長期借入元本返済	[h]																				
長期借入支払い利息	[i]																				
計（[g]+[h]+[i]）	[j]																				
ＤＳＣＲ	-																				
ＬＬＣＲ		=NPV(借入金利,[j20]:[j??])/[k35]、注）??は返済期間を指定、借入先が複数ある場合は「借入金利」は融資比率による加重平均を用いる																			
長期借入金	[k]																				
ＬＬＣＲ	-																				

※1　Ａ３横長で作成してください。
※2　消費税及び物価変動を除いた金額をご記入ください。
※3　千円単位で記入してください。
※4　必要に応じて項目を追加・削除してください。
※5　各項目は、（様式11－4）との整合をとってください。
※6　「配当前キャッシュフロー」とは、税引後利払後償却前のキャッシュフローを示すものとします。
※7　配当は、実際に現金支出する年度が配当額算定の根拠となっている年度と異なる場合でも、配当額算定の根拠となっている年度に現金支出するものとして計上してください。

応募者番号：

(様式11-6)

初期投資額見積書

（単位：千円）

項　目	金　額				備　考
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	計	
①施設の整備段階における業務					（様式11－8）参照
②運営開始前に必要となる諸費用					
ＳＰＣ設立費用					
アドバイザー委託料					
金融機関手数料					
建中金利					
ＳＰＣ運営費用					
試運転費用					
小計					
③その他（上記以外で資金調達の対象となるもの）					
小計					
合　計					

※1　消費税及び物価変動を除いた金額をご記入ください。
※2　千円単位で記入してください。
※3　必要に応じて項目を追加・削除し、運営開始前に必要となる費用を列挙してください。ただし、運営保金Ⅰ及び運営保証金Ⅱに関する費用は本様式には含めないでください。
※4　「合計」は、（様式11－7）の「合計」と一致させてください。
※5　「①施設の整備段階における業務」は、（様式11－8）の「合計」と一致させてください。

応募者番号：

（様式11-7）

資金調達計画書（１）

（単位：千円）

調　達　先	金　額				条　件
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	計	
①出資金					
小計					
②劣後融資					
小計					
③長期借入					
小計					
④短期借入					
小計					
⑤その他					
小計					
⑥国庫補助金					
合　計					

※1　千円単位で記入してください。
※2　「合計」は、（様式11－6）の「合計」と一致させてください。
※3　「調達先」には、企業名、金融機関名（様式10における名称と統一させる）等を記入してください。
※4　「条件」には、利率、返済期間、返済方法等を記入してください。
※5　調達先別に、返済期日ごとの元金返済及び支払い利息を示す返済計画を作成してください（様式自由、「様式11－7（別紙）」とする）。
※6　「⑥国庫補助金」は、（様式11－8）の「補助対象事業費」の「合計」に1/4を乗じた金額と一致させてください。
※7　金融機関の関心表明書及び融資条件書（タームシート）を提出してください（様式自由、「様式11-7（別紙２）」とする）。

応募者番号：

(様式11-8)

「施設の整備段階における業務」費用内訳書

（単位：円）

区分	費目1	費目2	細分1	細分2	全体計画	平成17年度	平成18年度	平成19年度	補助対象事業費		補助対象外事業費	内容・算定根拠
									本工事費	付帯工事費		
1a.機械設備の設計・施工　及び　1b.建築物等の設計・施工												
工事費	本工事費及び付帯工事費	直接工事費	機械設備	1.受入・供給設備								
				2.燃焼設備又は溶融設備								
				3.燃焼ガス冷却設備								
				4.排ガス処理設備								
				5.余熱利用設備								
				6.通風設備								
				7.灰出し設備								
				8.スラグ・メタル処理設備								
				9.給水設備								
				10.排水処理設備								
				11.電気・計装設備								
				12.周辺住民への情報公開設備								
				13.見学者用説明設備								
				13.1　施設全体模型								
				13.2　説明用パネル								
				13.3　説明用実写設備								
				13.4　説明用音声設備								
				13.5　説明用パンフレット								
				機械設備計								
			建築物等（建築物）									
				建築物計								
			建築物等（建築設備）	給・排水設備								
				衛生設備								
				空気調和・換気設備								
				給湯設備								
				建築電気設備								
				エレベータ設備								
				その他								
				建築設備計								
			建築物等（外構施設）	構内道路								
				駐車場								
				構内雨水排水								
				門・囲障等								
				植栽（施設用地内）								
				植栽（施設用地を除く管理区域内）								
				外灯								
				外構施設計								
			直接工事費計									
		間接工事費	共通仮設費									
			現場管理費									
			一般管理費									
	調査費											
	工事雑費											
事務費			旅費及び庁費									
「1a.機械設備の設計・施工　及び　1b.建築物等の設計・施工」　計												
1c.本施設の工事監理												
1d.生活環境影響調査												
1e.国庫補助金申請手続き												
1f.一般廃棄物処理施設整備に係る許認可申請手続き												
1g.周辺住民への対応												
1h.管理区域の清掃及び除草												
1i.その他本事業を実施するうえで必要な業務												
合　計												

※1　Ａ３横長で作成してください。
※2　消費税及び物価変動を除いた金額をご記入ください。
※3　一円単位で記入してください。また、一円未満は切り捨ててください。
※4　必要に応じて項目を追加してください。不要な項目は削除せず、0と記載してください。
※5　「平成17年度」から「平成19年度」の和及び「補助対象事業費」と「補助対象外事業費」の和は、「全体計画」と一致させてください。
※6　「補助対象事業費」及び「補助対象外事業費」は、平成16年度国庫補助金交付要綱に基づいて算定してください。
※7　「内容・算定根拠」は、可能な範囲で具体的に記述してください。
明細書等を添付する場合は、「（様式11－8）別紙」（様式自由）としてください。

応募者番号：

「施設の運営段階における業務」費用内訳書

（単位：千円）

項目	内容・算定根拠	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	計	H20－H34計
サービス対価（固定費Ⅱ）の対象となる費用																					
人件費の対象となる費用																					
例：○○担当（△名）																					
小計																					
需用費の対象となる費用																					
電気																					
水道																					
小計																					
維持管理費の対象となる費用																					
本施設の維持管理	（様式11－10）参照																				
小計																					
その他業務費の対象となる費用																					
保険料																					
公租公課																					
ＳＰＣ運営費用																					
小計																					
変動費Ⅰの対象となる費用	（様式11－11）参照																				
変動費Ⅱの対象となる費用	（様式11－12）及び（様式11－13）参照																				
合計																					

※1　Ａ３横長で作成してください。
※2　消費税及び物価変動を除いた金額をご記入ください。
※3　千円単位で記入してください。
※4　必要に応じて項目を追加・削除してください。
※5　平成17年度から平成19年度の欄は、平成20年4月1日より早期に運営を開始する場合のみ記入してください。
※6　運営開始前に必要となる諸費用は（様式11－6）に記載してください。
※7　「本施設の維持管理」は、（様式11－10）の「合計」と一致させてください。
※8　「変動費Ⅰの対象となる費用」は、（様式11－11）と一致させてください。
※9　「変動費Ⅱの対象となる費用」は、（様式11－13）と一致させてください。

応募者番号：

（様式11-10）

「本施設の維持管理」費用内訳書

（単位：千円）

項目	内容・算定根拠	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	計	H20－H34計
保守管理																					
小計																					
修繕更新																					
機械設備																					
1.受入・供給設備																					
2.燃焼設備又は溶融設備																					
3.燃焼ガス冷却設備																					
4.排ガス処理設備																					
5.余熱利用設備																					
6.通風設備																					
7.灰出し設備																					
8.スラグ・メタル処理設備																					
9.給水設備																					
10.排水処理設備																					
11.電気・計装設備																					
12.周辺住民への情報公開設備																					
13.見学者用説明設備																					
13.1　施設全体模型																					
13.2　説明用パネル																					
13.3　説明用実写設備																					
13.4　説明用音声設備																					
13.5　説明用パンフレット																					
小計																					
建築物等（建築物）																					
小計																					
建築物等（建築設備）																					
給・排水設備																					
衛生設備																					
空気調和・換気設備																					
給湯設備																					
建築電気設備																					
エレベータ設備																					
その他																					
小計																					
建築物等（外構施設）																					
構内道路																					
駐車場																					
構内雨水排水																					
門・囲障等																					
植栽（施設用地内）																					
植栽（施設用地を除く管理区域内）																					
外灯																					
小計																					
清掃																					
小計																					
合計																					

※1　Ａ３横長で作成してください。

※2　消費税及び物価変動を除いた金額をご記入ください。

※3　千円単位で記入してください。

※4　（様式11－8）で追加した項目及びその他必要に応じて項目を追加してください。不要な項目は削除せず、0と記載してください。

※5　平成17年度から平成19年度の欄は、平成20年4月1日より早期に運営を開始する場合のみ記入してください。

※6　運営開始前に必要となる諸費用は（様式11－6）に記載してください。

応募者番号：

「変動費Ｉの単価」算定式確認書

○サービス対価（変動費Ｉ）は，処理対象物量の増減に応じて比例的に増減する費用である。この変動費Ｉは，応募者が本確認書にて提案する変動費Ｉの単価（以下「単価Ｉ」という。）の算定式に実績ごみ質を代入して得られる単価Ｉ（実績ごみ質）（円/ｔ）と実績処理対象物量（ｔ）を用いて次式により算定される金額である。

【運営開始後のサービス対価（変動費Ｉ）の算出式】

変動費Ｉ（円）＝実績処理対象物量（t）×単価Ｉ（実績ごみ質）（円/t）

○本確認書では，要求水準書第１章第３節３に規定する計画ごみ質を規定する項目（例えば三成分や可燃分元素組成）等の条件を入力することによって求められる単価Ｉの算定式を記述すること。なお，この単価Ｉの算定式は，第三者が一意に求められるものでなければならない。ただし，算術式の他，グラフ，表等を利用することができるものであり，入力データと算定結果との関係が一意に定まるものであれば計算のプロセスを示す必要はない。

○入札時におけるサービス対価（変動費Ｉ）は，計画年間処理量（18,700ｔ/年）と上記により応募者が提案する単価Ｉの算定式に計画ごみ質（基準ごみ時）を代入して得られる単価Ｉ（計画ごみ質（基準ごみ時））を用いて次式により算定される金額としている。

【入札時におけるサービス対価（変動費Ｉ）の算出式】

変動費Ｉ（円）＝計画年間処理量（t）×単価Ｉ（計画ごみ質（基準ごみ時））（円/t）

○本確認書では入札時に用いるこの単価Ｉ（計画ごみ質（基準ごみ時））を実際に算定している過程並びに算出結果を記述するとともに，計画年間処理量を乗じて算出する変動費Ｉの算出結果も記述すること。

・Ａ４版　枚数制限なし

・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

「副生成物等の想定発生率」算定式確認書

○サービス対価（変動費Ⅱ）は，副生成物の発生量の増減に応じて比例的に増減する費用であり，副生成物の有償売却に伴う収入がある場合にはこれを控除するものである。この変動費Ⅱは，応募者が本確認書にて提案する副生成物等 i の想定発生率の算定式に実績ごみ質を代入して得られる副生成物 i の想定発生率 (実績ごみ質)（%）と様式 11-13 にて応募者の提案により定まる副生成物等 i の有効利用又は最終処分の単価Ⅱi（円/ｔ）を用いて次式により算定される金額である。

【運営開始後のサービス対価（変動費Ⅱ）の算出式】

変動費Ⅱ（円）＝実績処理対象物量（t）

×Σ｛副生成物等 i の想定発生率 (実績ごみ質)（%）×単価Ⅱi（円/t)｝

○本確認書では，要求水準書第１章第３節３に規定する計画ごみ質を規定する項目（例えば三成分や可燃分元素組成）等の条件を入力することによって求められる副生成物等 i の想定発生率の算定式を記述すること。なお，この想定発生率の算定式は，第三者が一意に求められるものでなければならない。ただし，算術式の他，グラフ，表等を利用することができるものであり，入力データと算定結果との関係が一意に定まるものであれば計算のプロセスを示す必要はない。

○入札時におけるサービス対価（変動費Ⅱ）は，計画年間処理量（18,700ｔ/年）と上記により応募者が提案する副生成物等 i の想定発生率の算定式に計画ごみ質（基準ごみ時）を代入して得られる副生成物等 i の想定発生率 (計画ごみ質（基準ごみ時)) を用いて次式により算定される金額としている。

【入札時におけるサービス対価（変動費Ⅱ）の算出式】

変動費Ⅱ（円）＝計画年間処理量（t）

×Σ｛副生成物等 i の想定発生率 (計画ごみ質（基準ごみ時))（%）×単価Ⅱi（円/t)｝

○本確認書では，入札時に用いるこの副生成物等 i の想定発生率 (計画ごみ質（基準ごみ時)) を実際に算定している過程並びに算出結果を記述すること。

・Ａ４版　枚数制限なし
・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

「副生成物等の有効利用又は最終処分の単価」内訳書

副生成物等	項目	金額 （円/ｔ）	単価Ⅱi （円/ｔ）	発生量 （ｔ/年）	変動費Ⅱi （円/年）
溶融スラグ 炭化物 焼却灰	運搬費				
	処理費				
溶融飛灰 飛灰	運搬費				
	処理費				
金属類	運搬費				
	処理費				
処理不適物	運搬費				
	処理費				
合　　計（＝変動費Ⅱ）					

※1　副生成物等の種類については，採用する処理方式で該当するものを選び，その他を削除すること。

※2　副生成物を売却する場合は，金額欄をマイナスで表示すること。

※3　発生量は, 様式 11-12 で算出した副生成物等 i の想定発生率(計画ごみ質 (基準ごみ時))を計画年間処理量に乗じて算出すること。

※4　必要に応じて項目を追加・削除してください。

・Ａ４版１枚以内

・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

(様式11-14)

資金調達計画書（２）

（単位：千円）

調　達　先	金　額				条　件
	1年目	2年目	3年目	計	
①出資金					
小計					
②劣後融資					
小計					
③長期借入					
小計					
④短期借入					
小計					
⑤その他					
小計					
合　計					

※1　千円単位で記入してください。
※2　「合計」は、（様式11－15）の「合計」と（様式11－17）の「合計」の和と一致させてください。
※3　「調達先」には、企業名、金融機関名（様式10における名称と統一させる）等を記入してください。
※4　「金額」は1年目から記入し、追加溶融施設の整備期間が3年未満の場合はそれ以降を空欄としてくださ
※5　「条件」には、利率、返済期間、返済方法等を記入してください。
※6　調達先別に、返済期日ごとの元金返済及び支払い利息を示す返済計画を作成してください（様式自由、「様式11－14（別紙）」とする）。

応募者番号：

（様式11-15）

追加投資見積書

（単位：千円）

項目	金額				備考
	1年目	2年目	3年目	計	
①追加溶融施設の整備段階における業務					（様式11－17）参照
②追加溶融施設が完成するまでに必要となる諸費用					
炭化物又は焼却灰・飛灰を最終処分可能な状態すにするための費用					
サービス対価の減額分の補填					
小計					
③その他（上記以外で資金調達の対象となるもの）					
小計					
合　計					

=運営保証金Ⅰ

※1　消費税及び物価変動を除いた金額をご記入ください。
※2　千円単位で記入してください。
※3　必要に応じて項目を追加・削除し、追加溶融施設が完成するまでに必要となる費用を列挙してください。
※4　「①追加溶融施設の整備段階における業務」は、（様式11－16）の「合計」と一致させてください。
※5　「金額」は1年目から記入し、追加溶融施設の整備期間が3年未満の場合はそれ以降を空欄としてくださ い
※6　「備考」欄には、算定根拠を可能な範囲で具体的に記述してください。

応募者番号：

（様式11-16）

「追加溶融施設の整備段階における業務」費用内訳書

（単位：円）

区分	費目1	費目2	細分1	細分2	全体計画	1年目	2年目	3年目	内容・算定根拠
1a.機械設備の設計・施工　及び　1b.建築物等の設計・施工									
工事費	本工事費	直接	機械設備	1.受入・供給設備					
	及び	工事費		2.燃焼設備又は溶融設備					
	付帯			3.燃焼ガス冷却設備					
	工事費			4.排ガス処理設備					
				5.余熱利用設備					
				6.通風設備					
				7.灰出し設備					
				8.スラグ・メタル処理設備					
				9.給水設備					
				10.排水処理設備					
				11.電気・計装設備					
				12.周辺住民への情報公開設備					
				13.見学者用説明設備					
				13.1　施設全体模型					
				13.2　説明用パネル					
				13.3　説明用実写設備					
				13.4　説明用音声設備					
				13.5　説明用パンフレット					
				機械設備計					
			建築物等（建築物）						
				建築物計					
			建築物等（建築設備）	給・排水設備					
				衛生設備					
				空気調和・換気設備					
				給湯設備					
				建築電気設備					
				エレベータ設備					
				その他					
				建築設備計					
			建築物等（外構施設）	構内道路					
				駐車場					
				構内雨水排水					
				門・囲障等					
				植栽（施設用地内）					
				植栽（施設用地を除く管理区域内）					
				外灯					
				外構施設計					
			直接工事費計						
		間接工事費	共通仮設費						
			現場管理費						
			一般管理費						
	調査費								
	工事雑費								
事務費			旅費及び庁費						
「1a.機械設備の設計・施工　及び　1b.建築物等の設計・施工」　計									
1c.本施設の工事監理									
1d.生活環境影響調査									
1e.国庫補助金申請手続き									
1f.一般廃棄物処理施設整備に係る許認可申請手続き									
1g.周辺住民への対応									
1h.管理区域の清掃及び除草									
1i.その他本事業を実施するうえで必要な業務									
合　計									

※1　Ａ３横長で作成してください。
※2　消費税及び物価変動を除いた金額をご記入ください。
※3　一円単位で記入してください。また、一円未満は切り捨ててください。
※4　（様式11－8）で追加した項目及びその他必要に応じて項目を追加してください。
不要な項目は削除せず、0と記載してください。
※5　「1年目」から「3年目」の和は、「全体計画」と一致させてください。なお、金額は「1年目」から記入し、追加溶融施設の整備期間が3年未満の場合はそれ以降を空欄としてください。
※6　施設の一部撤去・取り壊しを伴う場合には、その費用を含めてください。
※7　「内容・算定根拠」は、可能な範囲で具体的に記述してください。
明細書等を添付する場合は、「（様式11－16）別紙」（様式自由）としてください。

応募者番号：

(様式11-17)

追加溶融施設整備後の「施設の運営段階における業務」費用内訳書

（単位：千円）

項目	内容・算定根拠	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	計	H20－H34計
サービス対価（固定費Ⅱ）の対象となる費用																					
人件費の対象となる費用																					
例：○○担当（△名）																					
小計																					
需用費の対象となる費用																					
電気																					
水道																					
小計																					
維持管理費の対象となる費用																					
本施設の維持管理	（様式11－18）参照																				
小計																					
その他業務費の対象となる費用																					
保険料																					
公租公課																					
ＳＰＣ運営費用																					
小計																					
変動費Ⅰの対象となる費用	（様式11－19）参照																				
変動費Ⅱの対象となる費用	（様式11－20）及び（様式11－21）参照																				
合計　（A）																					
（様式11－9）の合計　（B）																					
合計　（A）－（B）																					

＝運営保証金Ⅱ

※1　Ａ３横長で作成してください。
※2　消費税及び物価変動を除いた金額をご記入ください。
※3　千円単位で記入してください。
※4　必要に応じて項目を追加・削除してください。
※5　追加溶融施設の完成後に必要となる費用を、応募者が提案する運営開始日から計上してください。
したがって、平成17年度から平成19年度の欄は、平成20年4月1日より早期に運営を開始する場合のみ記入してください。
※6　追加溶融施設が完成するまでに必要となる諸費用は（様式11－15）に記載してください。
※7　「本施設の維持管理」は、（様式11－18）の「合計」と一致させてください。
※8　「変動費Ⅰの対象となる費用」は、（様式11－19）と一致させてください。
※9　「変動費Ⅱの対象となる費用」は、（様式11－21）と一致させてください。

応募者番号：

（様式11-18）

追加溶融施設整備後の「本施設の維持管理」費用内訳書

（単位：千円）

項目	内容・算定根拠	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	計	H20－H34計
保守管理																					
小計																					
修繕更新																					
機械設備																					
1.受入・供給設備																					
2.燃焼設備又は溶融設備																					
3.燃焼ガス冷却設備																					
4.排ガス処理設備																					
5.余熱利用設備																					
6.通風設備																					
7.灰出し設備																					
8.スラグ・メタル処理設備																					
9.給水設備																					
10.排水処理設備																					
11.電気・計装設備																					
12.周辺住民への情報公開設備																					
13.見学者用説明設備																					
13.1　施設全体模型																					
13.2　説明用パネル																					
13.3　説明用実写設備																					
13.4　説明用音声設備																					
13.5　説明用パンフレット																					
小計																					
建築物等（建築物）																					
小計																					
建築物等（建築設備）																					
給・排水設備																					
衛生設備																					
空気調和・換気設備																					
給湯設備																					
建築電気設備																					
エレベータ設備																					
その他																					
小計																					
建築物等（外構施設）																					
構内道路																					
駐車場																					
構内雨水排水																					
門・囲障等																					
植栽（施設用地内）																					
植栽（施設用地を除く管理区域内）																					
外灯																					
小計																					
清掃																					
小計																					
合計																					

※1　Ａ３横長で作成してください。
※2　消費税及び物価変動を除いた金額をご記入ください。
※3　千円単位で記入してください。
※4　（様式11－8）で追加した項目及びその他必要に応じて項目を追加してください。
　　不要な項目は削除せず、0と記載してください。
※5　追加溶融施設の完成後に必要となる費用を、応募者が提案する運営開始日から計上してください。
　　したがって、平成17年度から平成19年度の欄は、平成20年4月1日より早期に運営を開始する場合のみ記入してください。
※6　追加溶融施設が完成するまでに必要となる諸費用は（様式11－15）に記載してください。

応募者番号：

追加溶融施設整備後の「変動費Ⅰの単価」算定式確認書

○本確認書では，追加溶融施設整備後に要求水準書第１章第３節３に規定する計画ごみ質を規定する項目（例えば三成分や可燃分元素組成）等の条件を入力することによって求められる単価Ⅰ（追加溶融施設整備後）の算定式を記述すること。なお，この単価Ⅰ（追加溶融施設整備後）の算定式は，第三者が一意に求められるものでなければならない。ただし，算術式の他，グラフ，表等を利用することができるものであり，入力データと算定結果との関係が一意に定まるものであれば計算のプロセスを示す必要はない。

○入札時における追加溶融施設整備後のサービス対価（変動費Ⅰ）は，計画年間処理量（18,700ｔ/年）と上記により応募者が提案する単価Ⅰ（追加溶融施設整備後）の算定式に計画ごみ質（基準ごみ時）を代入して得られる単価Ⅰ（追加溶融施設整備後：計画ごみ質（基準ごみ時））を用いて次式により算定される金額としている。

【入札時における追加溶融施設整備後のサービス対価（変動費Ⅰ）の算出式】

変動費Ⅰ（円）＝計画年間処理量（t）×単価Ⅰ（追加溶融施設整備後：計画ごみ質（基準ごみ時））（円/t）

○本確認書では入札時に用いるこの単価Ⅰ（追加溶融施設整備後：計画ごみ質（基準ごみ時））を実際に算定している過程並びに算出結果を記述するとともに，計画年間処理量を乗じて算出する変動費Ⅰの算出結果も記述すること。

・Ａ４版　枚数制限なし

・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

追加溶融施設整備後の「副生成物等の想定発生率」算定式確認書

○本確認書では，追加溶融施設整備後に要求水準書第１章第３節３に規定する計画ごみ質を規定する項目（例えば三成分や可燃分元素組成）等の条件を入力することによって求められる副生成物等 i の想定発生率 (追加溶融施設整備後) の算定式を記述すること。なお，この想定発生率 (追加溶融施設整備後) の算定式は，第三者が一意に求められるものでなければならない。ただし，算術式の他，グラフ，表等を利用することができるものであり，入力データと算定結果との関係が一意に定まるものであれば計算のプロセスを示す必要はない。

○入札時における追加溶融施設整備後のサービス対価（変動費Ⅱ）は，計画年間処理量（18,700 ｔ/年）と上記により応募者が提案する副生成物等 ｉ の想定発生率 (追加溶融施設整備後) の算定式に計画ごみ質（基準ごみ時）を代入して得られる副生成物等 i の想定発生率 (追加溶融施設整備後：計画ごみ質（基準ごみ時)) を用いて次式により算定される金額としている。

【入札時における追加溶融施設整備後のサービス対価（変動費Ⅱ）の算出式】

変動費Ⅱ（円）＝計画年間処理量（t）

×Σ {副生成物等 i の想定発生率 (追加溶融施設整備後：計画ごみ質（基準ごみ時））（%）×単価Ⅱi（円/t）

○本確認書では，入札時に用いるこの副生成物等 i の想定発生率 (追加溶融施設整備後：計画ごみ質（基準ごみ時)) を実際に算定している過程並びに算出結果を記述すること。

・Ａ４版　枚数制限なし

・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

（様式 11－21）

追加溶融施設整備後の「副生成物等の有効利用又は最終処分の単価」内訳書

副生成物等	項目	金額 （円/ｔ）	単価Ⅱi （円/ｔ）	発生量 （ｔ/年）	変動費Ⅱi （円/年）
溶融スラグ	運搬費				
	処理費				
溶融飛灰	運搬費				
	処理費				
金属類	運搬費				
	処理費				
処理不適物	運搬費				
	処理費				
合　　計（＝変動費Ⅱ）					

※1　副生成物を売却する場合は，金額欄をマイナスで表示すること。

※2　発生量は, 様式 11-12 で算出した副生成物等 i の想定発生率（計画ごみ質（基準ごみ時））を計画年間処理量に乗じて算出すること。

※3　必要に応じて項目を追加・削除してください。

・Ａ４版１枚以内

・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

（様式 12－1）

提　案　設　計　資　料

応募者番号：

（様式 12－2）

設計基本数値計算書
○本施設における低質ごみ、基準ごみ、高質ごみそれぞれの設計基本数値とその説明について記述してください。なお、記述にあたっては、以下に示す項目を参考に提案する処理方式に応じて項目を追加・修正してください。 1. 物質収支 2. 熱収支 3. 用役収支（電力、水、燃料、薬品、都市ガス、（通常運転時、立上時、立下時）、その他の副資材、各年間使用量） 4. 処理能力曲線 5. 負荷設備一覧 6. 主要機器容量計算書 7. 余熱利用 8. 公害防止条件（排ガス（炉出口排ガス濃度を含む）、排水、騒音、振動、低周波、悪臭、粉じん） 9. 副生成物基準（溶融スラグ、飛灰処理物等） 10. その他（必要に応じて）

・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

（様式 12－3）

プロセスの説明
○本施設における各プロセスの説明について記述してください。なお、記述にあたっては、以下に示す項目を参考に提案する処理方式に応じて項目を追加・修正してください。 1. ごみ焼却プロセス（ごみ系統、燃焼空気系統、排ガス系統、灰系統、熱分解物・溶融スラグ・溶解メタル系統、燃料系統等） 2. 蒸気及び復水プロセス（必要に応じて） 3. 給水プロセス（上水系統、プラント用水系統、冷却水系統、再利用水系統、雨水系統等） 4. 排水プロセス（プラント排水系統、生活排水系統等） 5. その他（必要に応じて） ○本施設における独自のプラント設備について記述してください。なお、記述にあたっては、以下に示す項目を参考に提案する処理方式に応じて項目を追加・修正してください。 1. 灰溶融システム 2. ガス化溶解システム 3. ダイオキシン類分解装置 4. 飛灰の無害化処理　等

・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

プラント運転条件
○本施設におけるプラント運転条件の説明について記述してください。なお、記述にあたっては、以下に示す項目を参考に提案する処理方式に応じて項目を追加・修正してください。 1. 焼却炉又は溶融炉の温度制御運転条件（ごみ質変化に対する制御） 2. 排ガス温度制御（ごみ質変化に対する制御） 3. 補助燃料使用条件 4. 非常時の措置 5. 溶融炉の自然融解限界 6. その他（必要に応じて）

・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

（様式 12－5）

主要機器メーカーリスト

〇主要機器及び設備等のメーカーリストについて記述してください。なお、記述にあたっては、以下に示す様式を参考に必要に応じて欄を追加・修正してください。

主要機器名	メーカー名

・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

（様式 12－6）

機械設備仕様
○要求水準書の規定に従い、機械設備仕様（形式、数量、性能、構造、容量、材質、操作条件等）について記述してください。なお、記述にあたっては、以下に示す機械設備を参考に提案する処理方式に応じて設備を追加・修正してください。 1. 受入・供給設備 2. 燃焼設備又は溶融設備 3. 燃焼ガス冷却設備 4. 排ガス処理設備 5. 余熱利用設備 6. 通風設備 7. 灰出し設備 8. スラグ・メタル処理設備 9. 給水設備 10. 排水処理設備 11. 電気・計装設備 12. 周辺住民への情報公開設備 13. 見学者用説明設備

・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

（様式 12－7）

建築物等仕様
○要求水準書の規定に従い、計画基本方針及び建築物等仕様について記述してください。なお、記述にあたっては、以下に示す項目を参考に必要があれば項目を追加してください。 1. 全体施設配置計画 2. 動線計画 3. 平面・断面計画 4. デザイン計画 5. 仕上げ計画 6. サイン計画 7. 見学者等用諸室の備品計画 8. 建築構造計画 9. 建築設備計画 10. 外構計画

・文字の大きさは 10 ポイント以上でお願いします。

応募者番号：

（様式 13－1）

提　案　図　面

応募者番号：

（様式 13-2）

提案図面一覧表

書類番号	図面	備考
様式 13－3	全体施設配置計画図	カラー、外構を含む
様式 13－4	動線計画図	
様式 13－5	施設各階平面図	機械設備配置を含む
様式 13－6	施設立面図	
様式 13－7	施設断面図	
様式 13－8	部分詳細図（説明図）	
様式 13－9	システムフロー図	
様式 13－10	炉組立図	
様式 13－11	築炉構造図	
様式 13－12	煙突組立図及び姿図	
様式 13－13	電気設備主回路単線結線図	
様式 13－14	建築外部及び内部仕上表	
様式 13－15	面積表（建築面積、延床面積）	
様式 13－16	完成予想図	カラー、鳥瞰図
様式 13－17	その他	

注）

1. 本様式のサイズはＡ３版（見開き）としてください。
2. 必要に応じて図面の種類を追加・修正してください。

応募者番号：

（様式 14－1）

追加溶融施設に関する提案設計資料

応募者番号：

（様式 15－1）

追加溶融施設に関する提案図面

応募者番号：